道路調書の修正データシートの作成方法

平成21年11月4日

道路企画課

# 目 次

## 道路調書の修正データシートの作成方法

1. 柞	<b>羨式</b> の	変更	理由	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		Р	1
2. 兼	新しい	デー	-タシ	/	٠ ٢	に	つ	いい	て	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•		Р	1
3. 5	データ	シー	- ト作	成	:上	の	留	意	点	(	(各	モ		ト	`共	通	į)	•	•	•	•	Р	1
4. 名	各モー	- ドの	解説	į																			
1	「追	加」	モー	ド	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	Ρ	2
2	「変	更」	モー	ド	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	Р	2
3	「肖〔	除」	モー	K	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	Р	2
4	「路	線変	更」	モ	_	ド	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	Р	3
5	「デ	ータ	更新	.]	モ	_	ド	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	Р	3
5. 原	属性の	追力	ここつ	いい	て	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	Р	3
6. (	[参考]	)デ	ータ	シー	<b>-</b> ]	ト言	己/	人三	手川	順													
1	追加	モー	-ド編	•	•		•	•		•			•	•	•	•	•	•	•	•	•	Р	4
2	変更	モー	ド編	•			•		•	•	•	•		•	•	•	•			•	•	Р	5
3	削除	モー	-ド編			•		•														Р	6
4	路線	変更	モー	K	編	•		•														Р	7
(5)	デー	·夕更	新モ	_	下;	編	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	Ρ	8
添付資	資料																						
別糸	ЩΑ	デー	-タシ	/	·	0)	様	左	4														
別糸	<b>H</b> (1)	追力	[]モー	- ド	(D)	記	入	例															
別糸	<b>H</b> 2	変更	<b></b> モー	- ド	(D)	記	入	例															
別糸	<b>£</b> 3	削隊	モー	- ド	`(D)	記	入	例															
別糸	<b>H</b> (4)	路線	象変更	ĺΈ	_	K	(D)	記	八	例													
別糸	<b>K</b> (5)	デー	-タ更	新	モ	_	K	(D)	記	込	例												
別糸	氏⑥	属性	<sub></sub> 上コー	- ド	表																		
七11字	H(7)	洋瓜	2.台幅	什	· [汉]	修	正	咭	$\mathcal{I}$	返	1音	• 車	TE	î									

## 道路調書の修正データシートの作成方法

道路台帳システムの再構築に伴い、道路台帳修正業務で作成するデータシートの様式(第3号~第5号)が変更になりましたので、新しいデータシートの作成方法について解説します。

また、道路台帳管理事務提要についても改訂作業を進めているところですが、データシートの作成に 当たっては、改訂されるまでの間は、この作成方法に従ってください。

## 1. 様式の変更理由

これまで、データシート(旧様式)を作成後、パンチング処理(手動)にて道路台帳システムへの登録を行っていましたが、経費削減、処理速度及び精度の向上という観点から、データシートを道路台帳システムに直接取込み、登録を行う処理方法に変更したことによるものです。

## 2. 新しいデータシートについて

新しいデータシートは、道路台帳システムへの取込み動作(以下「モード」という。)ごとに、大きく5種類に分類されます。以下に、新しいデータシートの作成に当たって、各モード共通の留意点、各モード別の使用例、入力必須項目(データシート作成方法)等を記述しますので、今後はこれに従ってデータシートを作成して下さい。

なお、以下に記載のある属性 (46属性)の属性値は、今回新たに追加された3属性を除き、これまで利用してきたコードを継承しています。

## 3. データシート作成上の留意点(各モード共通)(別紙-A参照)

- ①データシートはMS Excel (エクセル) で構成されています。
- ②一つのエクセルファイル内に複数のワークシートの作成は可。(ファイル名指定無し) ※ファイル名の命名規則は特に設けませんが、下記を参考にして下さい。
  - ※ファイル名:「東部■○○課 091124(日付).xls」
- ③一つのワークシート(データシート)に1区間情報とすること。(シート名指定無し) ※シート名の命名規則は特に設けませんが、各モードで解説する名称を参考にして下さい。
- ④一つのデータシート内について、属性分類コードが空欄の行までデータとして認識する。 ※行の間を空けると、行間以下に入力されたデータは認識しない。
- ⑤追加モード・変更モードの場合は、必ず全属性情報を入力すること。(46 属性入力する。)
- ⑥データ更新モードの場合は、変更となる属性のみの入力で良い。(46属性全て入力する必要は無い。)
- ⑦データシートに入力する属性値がブランクの場合は、必ず「0」(ゼロ)を記入すること。

## 4. 各モードの解説

①「追加」モード(別紙①参照)

#### <使用例>

・既存の道路に加えて、新たに道路を延伸した場合等に使用する。

#### <具体例>

・国道 482 号の総累加延長 7580m の地点より道路が延伸 (643m) された。

#### <入力必須項目>

- ・追加対象となる「道路種別」と「路線番号」を入力する。
- ・追加対象地点の「起点側総累加延長」を入力する。 ※終点側総累加延長は、特に指定しない。
- ・全属性値(46属性)を入力する。
- ・各属性値の最終累加延長を同値にする。

#### <シート名>

国道482号【追加①】

### ②「変更」モード (別紙②参照)

#### <使用例>

既存の道路を改良した場合等に使用する。

#### <具体例>

国道 482 号の総累加延長 26,990m~27,148m の区間(158m)の工事を行い線形改良した結果、延長が変更(160m)になった。

#### <入力必須項目>

- ・変更対象となる「道路種別」と「路線番号」を指定する。
- ・変更対象となる区間を起点側総累加延長と終点側総累加延長にて指定する。
- ・全属性値(46属性)を入力する。
- ・各属性値の最終累加延長を同値にする。

#### <シート名>

国道482号【変更①】

### ③「削除」モード(別紙③参照)

#### <使用例>

旧道部を市町村道に移管する場合など、管理する必要のなくなった区間のデータを削除する。

#### <具体例>

主要地方道郡家鹿野気高線(路線番号 32 号)の総累加延長 2,000m $\sim 3,000$ m の区間が、市道に移管された。

#### <入力必須項目>

- ・削除対象となる「道路種別」と「路線番号」を指定する。
- ・削除対象となる区間を起点側総累加延長と終点側総累加延長にて指定する。

#### <シート名>

(主) 郡家鹿野気高線【削除①】

#### ④「路線変更」モード (別紙④参照)

#### <使用例>

区間情報は変更しないで、路線番号を変更する場合に使用する。

#### <具体例>

主要地方道郡家鹿野気高線(路線番号 32 号)の総累加延長 2,000m~3,000mの区間を主要地方道三朝中線(路線番号 33 号の起点(総累加延長 0m)側へ変更したい。

#### <入力必須項目>

- ・変更元路線の「道路種別」と「路線番号」を指定する。
- ・変更元路線の「起点側総累加延長」と「終点側総累加延長」を指定する。
- ・変更先路線の「道路種別」と「路線番号」を指定する。
- ・変更先路線の「起点側総累加延長」と「終点側総累加延長」を指定する。

## <シート名>

(主) 郡家鹿野気高線【路線変更①】

## ⑤「データ更新」モード(別紙⑤参照)

#### <使用例>

更新対象区間の延長に増減は無いが、対象区間内の属性情報を更新したい場合に使用する。

注) 区間内の延長に変化が生じる場合は、「変更モード」で処理を行う。

#### <具体例>

主要地方道米子大山線(路線番号 24)の総累加延長  $689m\sim1,537m$  の区間(848m 間)にガードレールを取り付けた。

#### <入力必須項目>

- ・更新対象となる「道路種別」と「路線番号」を指定する。
- ・更新対象となる区間を起点側総累加延長と終点側総累加延長にて指定する。
- ・各属性値の最終累加延長を同値にする。
  - 注)変更対象となる区間延長(終点側総累加延長・起点側総累加延長)と各属性値の最終累加延 長は、必ず同値にする。
- ・変更となる属性値のみ記入する。(全属性入力する必要は無い。)

#### <シート名>

(主) 米子大山線【更新①】

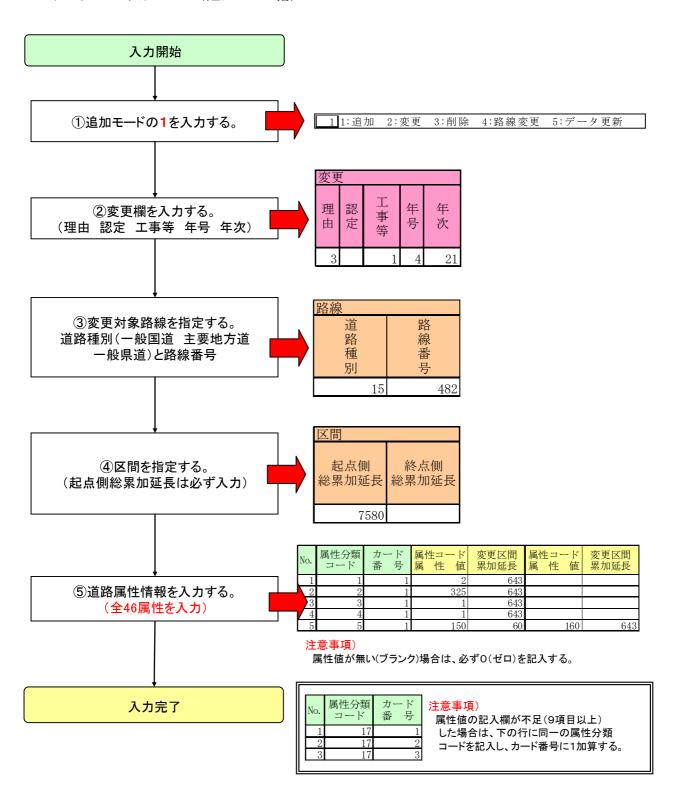
#### 5. 属性の追加について (別紙⑥参照)

適切な道路施設及び台帳付図の管理のため、従来の 43 属性に 3 属性追加し、全部で 46 属性としました。追加された属性番号と属性値は下表のとおりです。

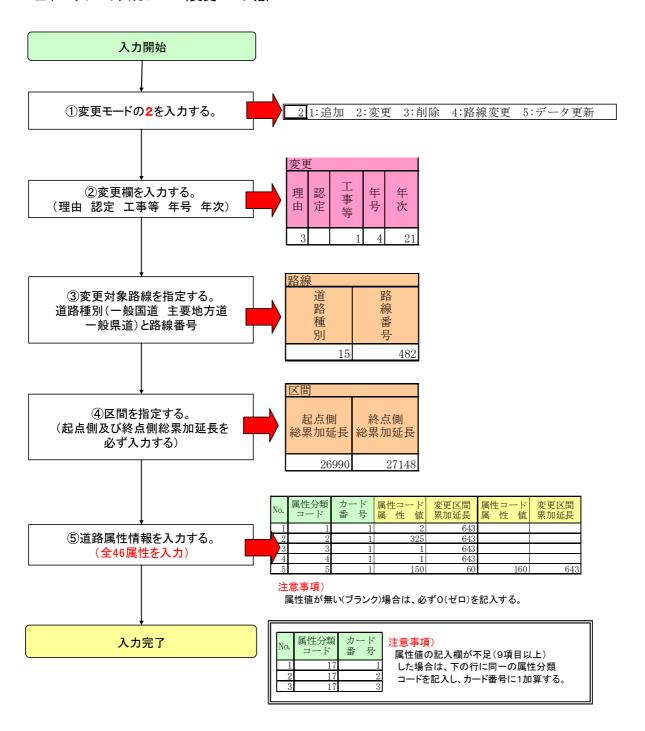
属性番号	名称	属性値
44		0:施設なし 1:階段式 2:スロープ式 3:押上式
45		0:施設なし 1:階段式 2:スロープ式 3:押上式
46	図面番号	該当地点の図面名称(CADファイル名拡張子不要)
		※1.複数の図面番号は、入力できません。
		※2.図面番号の規則は、「別紙⑦」を参照。

## 6. (参考) データシート記入手順

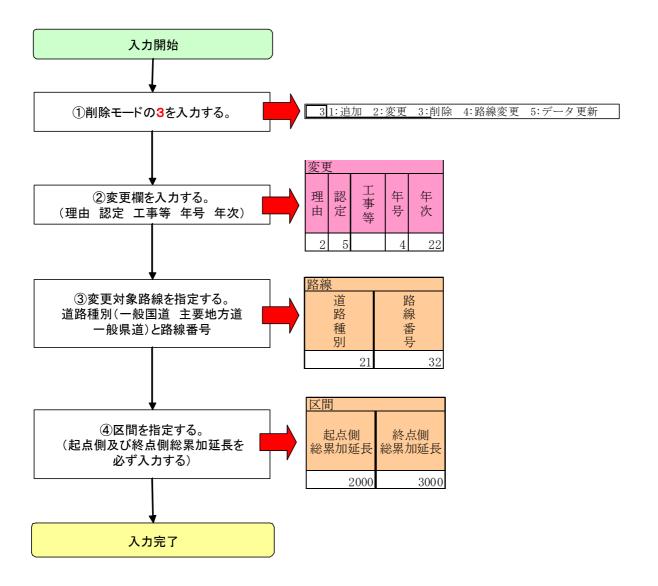
#### ■データシート入力フロー(追加モード編)



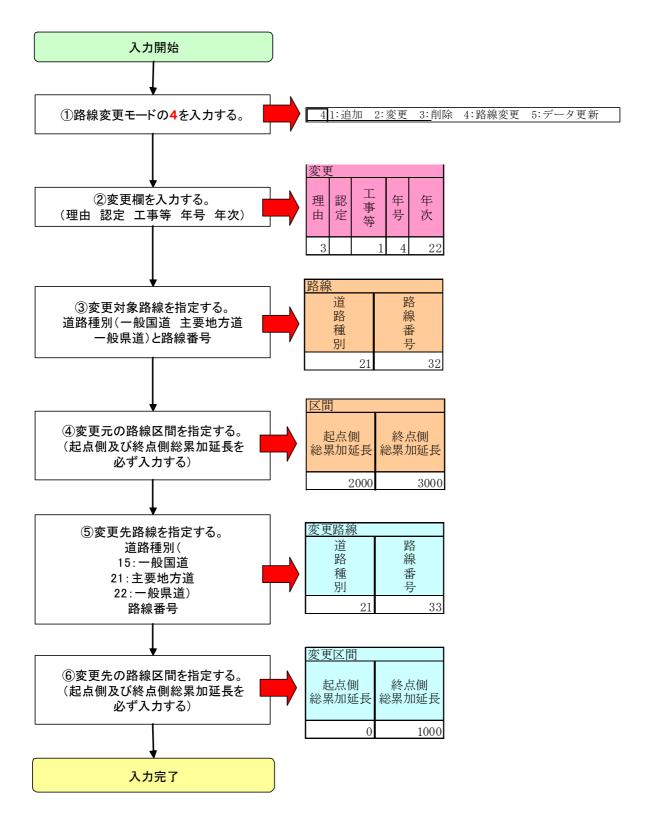
#### ■データシート入力フロー(変更モード編)



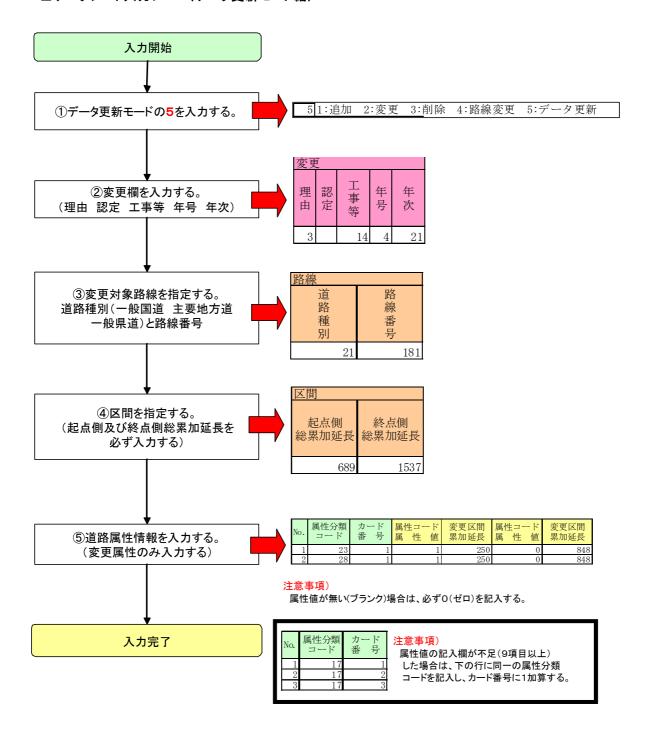
## ■データシート入力フロー(削除モード編)



#### ■データシート入力フロー(路線変更モード編)



### ■データシート入力フロー(データ更新モード編)



<u>路線名</u> <u>工種</u>

	1:追加 2:変更 3:削除 4:路線変更 5:データ更新												
変見	Ē				路線		区間		変更路線		変更区間		
理由	認定	工事等	年号	年次	道 路 種 別	路線番号	起点側総累加延長	終点側総累加延長	道 路 種 別	路線番号	起点側 総累加延長	終点側総累加延長	

道路属性情報

道路	属性情報																	
No.	属性分類 コード		属性コード 属 性 値	変更区間 累加延長	属性コード 属性 値	変更区間 累加延長	属性コード 属 性 値	変更区間 累加延長	属性コード 属 性 値	変更区間 累加延長	属性コード 属 性 値	変更区間 累加延長	属性コート属 性 値	変更区間 累加延長	属性コード 属 性 値	変更区間 累加延長	属性コード 属 性 値	変更区間 累加延長
1																		
2	条件	:																
3			LITME E	1001 (エカ	ナルケ	構成されて	ついます											
4								1-	2	→ frat 3 \								
5	(2)	のエク・	セルファイ	「ル内に修	数のリー	クシートの	)作成ば可	。(ファ	イル名指定	三無 し)								
6	※フ	アイルタ	名の命名規	見則は特に	二設けませ	んが、下記	己を参考に	して下さ	い。									
7	※フ	アイルク	名:「東部	祁□○○課	091124	(日付).x1	s											
8	(3)-<	のワー	クシート	(データシ	ノート) に	1区間情報	とすること	· (シー	<b>卜</b> 名指定無	#[])								
9	- ×:	/ <b>一</b> 卜名(	の命名担目	川け特に設	けません	が、各モー	- ドの解説	する名称	を参考にし	で下さい								
10		ハデー	タミノー トロ	付は付に取	こ 昆州八	カ 類コードカ	で理例を	ナる石が	カレーで	り鉢子で	0							
11	4)		タンード	1(について	、周江刀	類コートル	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	まじたー	グとして前	が戦り む。								
12						れたデータ			/ P I -						1			
13	- (5) 追加	]モード	<ul><li>変更モー</li></ul>	-ドの場台	は、必ず	全属性情報	最を入力す	ること。	(46属性ブ	(力する。	)		-					
14	- ⑥デー	-タ更新 <sup>:</sup>	モードのホ	易合は、変	ぎ更となる	属性のみの	り入力で良	い。(46)	属性全てフ	(力する必	要は無い	。)						
16	(7)デー	タシー	トに入力で	よる属性値	がブラン	クの場合に	は、必ず「	0」(ゼロ	)を記入す	ること。								
17	_ ′			, <u> </u>			, ,_ ,		, _ , _ ,	3 – 20								
18	_																	
19																		
20				T	ı				ı	ı		1						
21																		
22																		
23																		
24																		
25													-					
26 27																		
28													<del>                                     </del>	+	1			
29															+			
30															†			
31																		
32																		
33																		
34																		
35										-						-		
36															1			
37															1			
38															-			
39												1	1					

11:追加 2:変更

工事等

年号

理 認 定

路線

路 線 名 ①1を記入する。 ②変更欄を入力する。 ③変更対象路線を指定。 ④変更対象区間を指定。 <u>工 種</u>

道路

種

終点側

総累加延長

総累加延長

	変更区間	
路	±3 J= /mi	<b>∞</b> 上 Ini
線番	起点側 総累加延長	終点側 総累加延長

別紙①

■道路台帳システムデータシート(例:変更) <mark>サンプル事例) 国道482号線の総累加延長26990m~27148mの区間の工事を行い延長が変更になった。</mark>

別紙②

路線名 ①2を記入する。 ②変更欄を入力する。 ③変更対象路線を指定。 ④変更対象区間を指定。 工種

2	1:j	<u></u> 1	:変	Į 2	前除 4:路線	象変更 5:デ	一个文新					
変	更				路線		区間		変更路線		変更区間	
理由	認定	工事等	年号	年次	道 路 種 別	路線番号	起点側総累加延長	終点側 総累加延長	道 路 種 別	路線番号	起点側 総累加延長	終点側 総累加延長
3	3	1	4	21	15	482	26990	27148				

3	1	4 21	<u></u> 別	<del>芳</del> 482	26990	27148	別	一										
	属性情報			入力する。(全		2,110	Į.				ı							
		カード	属性コード	変更区間	属性コード	変更区間	属性コード	変更区間	属性コード	変更区間	属性コード	変更区間	属性コード	変更区間	属性コード	変更区間	属性コード 属 性 値	変更区間
1	コード	番号	属性值   2			累加延長	属 性 値	累加延長	属性値	累加延長	属 性 値	累加延長						
2	2	1	322	160														
3	3 4	1	1															
5	5	1	290	160														
6 7	6 7		10000	160														
8	8 9		0															
10	10	1	0	160														
11 12	11 12		1000		2000	101	1000	160										
13 14	13 14		0				0	160										
15	15	1	0	160														
16 17	16 17		1 80				110	33	85	52	75	135	68	160				
18 19	18 19	1	60	129	40													
20	20	1	0	160														
21 22	21 22	1	0															
23	23 24	1	0	160														
24 25	25	1	0	160														
26 27	26 27	1	0															
28 29	28 29	1	0	160														
30	30	1	0	160														
31 32	31 32	1	0		1 0		0	134	1	160								
33 34	33 33	1	180 169	3			110	33	147	52	153	63	193	80	153	88	166	135
35	34	1	0	160														
36 37	35 36		1 0															
38 39	37 38	1	1 421	160														
40	39	1	421	160		100												
41	40 41	1	421 421															
43	42 43	1	0															
45	44	1	0	160														
46	45 46		TEST 0	160 160														
48																		
50 51																		
52																		
53 54																		
55 56																		
57																		
58 59																		
60 61																		
62																		
63 64																		
65 66				<u> </u>														
67																		
68 69																		
70 71																		
72 73																		
74																		
75 76																		
77 78																		
79																		
80 81																		
82 83																		
84																		
85 86																		
87 88																		
89 90																		
91																		
92 93																		

■道路台帳システムデータシート(例:削除) サンプル事例) 主要地方道32号線の総累加延長2000m~3000m区間が市道に移管された。

別紙③

		追加 2	2:変	更 🤈		象変更 5:デ	一个文新					
変	更				路線		区間		変更路線		変更区間	
理由		二二.	年号	年次	道 路 種 別	路線番号	起点側総累加延長	終点側 総累加延長	道 路 種 別	路線番号	起点側 総累加延長	終点側 総累加延長
	9	5	1	22	91	39	2000	3000				

2		4 22	21	32	2000	3000					J							
道路属属	性情報	カード	属性コード	変更区間	属性コード	変更区間	属性コード	変更区間	属性コード	変更区間	属性コード	変更区間	属性コード	変更区間	属性コード	変更区間	属性コード	変更区間
	コード	番号	属性値	累加延長	属性値	累加延長	属性値	累加延長	属性値	累加延長	属性値	累加延長	属性コード 属 性 値	累加延長	属性値	累加延長	属性値	変更区間 累加延長
1 2																		
3																		
4 5																		
6 7																		
8																		
9																		
11 12																		
13																		
14 15																		
16 17																		
18																		
19 20																		
21																		
23																		
24																		
26																		
20 21 22 23 24 25 26 27 28 29																		
30																		
31																		
31 32 33 34																		
35																		
36																		
36 37 38																		
39																		
40																		
42																		
43 44 45																		
46																		
47 48																		
49																		
50 51																		
52 53																		
54 55																		
56																		
57 58																		
59																		
60																		
62 63																		
64 65																		
66																		
67 68																		
69																		
70 71																		
72 73																		
74																		
75 76																		
77 78																		
79																		
80 81													1					
82																		
84																		
85 86													<del>                                     </del>					
87																		
88 89																		
90 91																		
91			<u> </u>	<u>l</u>	<u> </u>	<u>I</u>					1		ı		<u> </u>			

■道路台帳システムデータシート(例:路線変更) サンプル事例) 主要地方道32号線の総累加延長2000m~3000mの区間を主要地方道33号線の起点(総累加延長0m)側へ変更したい。

<u>路線名</u>①4を記入する。 ②変更欄を入力する。 ③変更元路線を指定。 ④変更元区間を指定。 ⑤変更先路線を指定。 ⑥変更先区間を指定。

41:追加 道路種別 道路種 路線番号 路線番号 工事等 理認由定 年号 年次 起点側 終点側 総累加延長 総累加延長 総累加延長 総累加延長 別 22 2000 3000 1000

道路属性情報 変更区間 累加延長 カード 番 号 属性コード 属 性 値 属性コード 属 性 値 変更区間 累加延長 属性コード 属 性 値 変更区間 累加延長 属性コード 変更区間 属性コード 属 性 値 累加延長 属 性 値 属性コード 属 性 値 変更区間 累加延長 属性コード 属 性 値 変更区間 累加延長 属性コード 属 性 値 変更区間 累加延長 属性分類 10 11 14 15 16 17 18 19 34 35 39 40 41 42 43 45 46 47 48 49 51 52 60 61 64 65 66 67 68 69 70 71 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90

別紙④

■道路台帳システムデータシート(例:データ更新) サンプル事例) 主要地方道24号線の総累加延長689m~1537mの区間にガードレールを取り付けた。

②変更欄を入力する。 ③変更対象路線を指定。 ④変更対象区間を指定。

変更区間 路線番号 道路種別 路線番号 道路種別 工事等 理認定 年号 起点側 総累加延長 終点側 総累加延長 起点側 終点側 総累加延長 年次

3	14			181			別	号									
道路	·属性情報			・入力する。(													
No.	属性分類	カード釆り	属性コード属性に値	変更区間	属性コード属性に値	変更区間	属性コード属性の値	変更区間	属性コード属性に値	変更区間	属性コード属性に値	変更区間	属性コード属性に値	変更区間	属性コード 変更区間 属性 値 累加延長	属性コード属性に値	変更区間
1	23	1	1	250	0	380	1	650	0	848		米加延及	<b>商 II II</b>	米加延及	病 IT IE	周 江 厄	赤加延及
3	28	1	1	250	0	380	1	650	0	848							
4 5																	
6 7																	
8																	
10																	
11 12																	
13 14																	
15 16																	
17 18																	
19																	
20																	
22 23																	
2.4																	
25 26 27																	
28																	
29 30																	
31 32																	
33																	
35 36																	
37																	
38 39																	
40																	
42																	
44 45																	
46																	
47																	
49 50																	
51 52																	
53 54																	
55 56																	
57 58																	
59																	
60																	
62 63																	
64 65																	
66 67																	
68																	
70																	
71 72 73																	
74																	
75 76																	
77 78																	
79																	
80 81																	
82 83																	
84 85																	
86 87																	
88																	
90																	
91																	

別紙⑤

## 属性コード表

	禹性コート表
道路属性	名称
001	事務所コード
002	市町村コード
003	路線分割
004	管理区分
005	距離標番号
006	形状分類コード
007	分岐
800	自動車専用区分
009	一般有料区分
010	自動車交通(交通不能)
011	未区域決定未共用告示区間
012	基本分類コード
013	道路との交差
014	一方通行
015	改良·未改良
016	路面別(舗装)
017	道路部(幅員 単位:0.1m)
018	車道部(幅員 単位:0.1m)
019	歩道L(幅員 単位:0.1m)
020	歩道L(構造形態)
021	歩道L(利用形態)
022	歩道∟(植樹)
023	歩道L(ガードレール)
024	歩道R(幅員 単位:0.1m)
025	歩道R(構造形態)
026	歩道R(利用形態)
027	歩道R(植樹)
028	歩道R(ガードレール)
029	中央帯(幅員 単位:0.1m)
030	中央帯(構造形態)
031	ガードレール(左)
032	ガードレール(右)
033	敷地の面積率(道路敷地幅率)
034	山村地域(特殊立法)
035	雪寒路線(特殊立法)
036	奥産路線(特殊立法)
037	バス路線
038	区域決定年号/年次
039	供用開始年号/年次
040	改良年号/年次
041	舗装架設築造年号/年次
042	歩道年号/年次
043	補修年号/年次
044	横断步道橋
045	地下横断步道橋
046	図面番号

追加属性

## ヘッダー部コード表

■変更理由

■友文任田	
区 分	ロー
認定(増)	1
認定(減)	2
工事等	3
過年度精査	4

■認定

区 分	<u>Т</u> П
直轄国道	1
県管理国道	2
主要地方道	3
一般県道 市町村道	4
市町村道	5
農林道	6
廃道	7

■T事等

■上争寺	
区 分	コード
道路改良	1
特改一種	2
特改二種	3
特改三種(改築)	4
橋梁整備	5
橋梁補修	6
踏切除却	7
自転車道整備	8
凍雪害防止	9
災害防除	10
舗装新設	11
特改三種(舗装)	12
特改四種	13
舗装補修	14
交通安全施設	15

■年号年次

<u> </u>	
区 分	П  -
明治	1
大正	2
大正 昭和 平成	3
平成	4

平成22年の場合



## 道路台帳付図修正時の留意事項

鳥取県が保管する道路台帳付図は、すべて電子化(CAD)されており、今後、一貫性のある維持運用を行うために、道路台帳付図修正時の留意事項について解説します。

#### 《付図ファイル基本条件》

CAD 形式・・・SFC 形式 ※P21 形式は使用しない

### 《付図ファイル命名規則》

1. ファイル名は付図内に記載された図面番号と一致させる。

例:20-1、20-2、20-3 ... 20-18、20-19、20-20

ただし、数字の先頭に余分な0を入れない。例:20-01、20-02、20-03...とはしない。

2. ファイル名に使用できる文字は以下のみとする。

半角数字:1、2、3 ...

半角英字(大文字): A、B、C ...

漢字:旧道 分離 など

半角記号:-(ハイフン)、(アンダースコア)のみ

3. バイパスなどで区別する場合は、以下のとおり命名する。

バイパス区間: BP-1、BP-2、BP-3 ...

旧道区間:旧道-1、旧道-2、旧道-3 ...

分離歩道など現道と分離した区間:分離-1、分離-2、分離-3 ...

#### 《その他》

- 1. 修正に必要な道路台帳付図の電子データは、最新版であることを確認の上、利用する
- 2. 作成した付図ファイルは路線番号名を付与したフォルダ(15-178 など)に格納する。
- 3. 付図を新規作成する場合は、分割図を作成しない。分割図の作成が必要となる場合は、 別図葉にて作成する。

これにより、1枚当りの道路延長が短くなっても構わない。なお、現在分割されている平面図について台帳修正がある場合は、分割部分を別図葉として作成すること。

- 4. 付図システムに登録する必要があるため、必ず図葉内の道路中心線と分割線が交差する位置に座標を入力する。また、前後の図葉(別路線と接続する場合は別路線の図葉とも)との接合を確認すること。
- 5. 図枠も含め、全て SFC 形式で作成する。ラスタデータは一切使用しないこと。修正する台帳平面図に、ラスタデータがある場合は、ラスタデータをベクトル変換すること。
- 6. 付図電子データのファイル名の変更や新規作成を行った場合は、必ず調書データの図 面番号を更新すること。